

# The 耐感 180min 【基本事項】

## ザ・たいかん・ワンエイティーン・ミニッツ

### イベント特別ルール（エントリー・排気量計算編）

イベント事務局

車両の特別規定を抜粋させていただきました。（車種によって車検証上の排気量にプラス・マイナスになる場合がございます）  
排気量計算の際の参考をお願い致します。

※車検証上の排気量ではない場合がございますので必ずお願い致します。  
もしご自身の車の計算がご不明な場合はエントリーの前にお問合せください。

#### ●車両特別排気量は下記を参照

- 【1】トヨタGRヤリス・GRカローラは、201ccを排気量にプラスして計算する。（2024年から追加）
- 【2】ホンダ Type-Rグレードは、201ccを排気量にプラスして計算する。
- 【3】マツダRX-8は基本排気量1800ccで計算する。マツダ RX-7は、基本排気量2000ccで計算する。
- 【4】SW(ステーションワゴン)は、普通形状車輛とみなす事にします。
- 【5】4WDターボでノーマル時280馬力以上の車輛は200ccを排気量プラスして計算。
- 【6】各車ATの場合は200ccマイナスして計算する。（スーパースポーツ車2ペダルMTは除く）
- 【7】輸入車 NA1800cc以下の場合、200ccマイナスして計算する。  
※但し、エリーゼ・エキシージ・2-Eleven・ラディカル等は除き、基本1801ccで計算する。
- 【8】ホンダ S2000は、201ccを排気量にプラスして計算する。
- 【9】個人で排気量UPの改造をしている場合はその増分もプラスする。個人でNAをTurbo化してる場合は200ccプラスする。

【番外編】通称:スーパー7(輸入車)は、フロントまでのロールバー必着とする。

#### ●設定クラス

クラス分け表

ナンバー付車輛のみで結成されたチーム		無ナンバー車輛のみで結成されたチーム	
CN-1	チーム平均 2,200cc 以上	C-1	チーム平均 2,200cc 以上
CN-2	チーム平均 2,199cc~1,801cc まで	C-2	チーム平均 2,199cc~1,801cc まで
CN-3	チーム平均 1,800cc~1,500cc まで	C-3	チーム平均 1,800cc~1,500cc まで
CN-4	チーム平均 1,499cc 以下	C-4	チーム平均 1,499cc 以下

#### ■出場クラス選びのポイント1（例）

まずは基本排気量の把握。

注意: 基本は車検証記載排気量(必須)

シビックEK9の場合 **1595cc** ⇒  
・排気量の**10の位を四捨五入**をして計算する事

よって、**1600cc** となる  
※**特別規定はここで出た数値に加算する事。**  
(小数点以下切捨て)

- 8)-1・本イベントはドライバー交代や、ピット・パドックで作業時の安全性を考慮し、**ピットロードの走行速度を、最高速度20km/hでの走行と致します。**  
尚、**区間はPIT入口速度規制看板白線～ピットエンド信号横まで及び、パドック内全域**と致します。  
あまりにも著しいスピード違反は、退場を命じさせて頂く場合があります。
- 9)-1・発信機は、1チームにつき、1機の配布(貸出)となります。  
9)-2・チーム内に複数の登録車両が有る場合には、発信機の付替え作業が、ドライバー交代と同時の作業として必要になります。**計測機を付け忘れると、タイム・周回数が計測できなくなり、せっかく走った周回が無効となります。**お気をつけ下さい。  
9)-3・発信機取付位置は、極力低い位置でカーボン製の部品や厚い鉄板の上を避け、発信機の電波が路面に遮るもの無く届く場所が望ましい。また、ステーはしっかりと固定し、発信機が走行中に動かない様に補強(固定)する事。取付推奨箇所は、車体外側で路面に近く、熱源から離れた箇所(牽引フックまたは、他部品ステー類等)。通常牽引に使用できる状態を保てるのであれば、牽引フック部分へのチーム特製発信機取付用ステーを認めます。  
9)-4・フリー走行に各車出走する際に、発信機付替え直後の車両は、掲示板/モニターにタイム表示が有るか確認をしてください。取付状況に不安が有る場合は、係員に事前にお尋ねください。  
9)-5・発信機は紛失・破損させてしまった場合には**時価約8万円強(税別)の補償料**が必要になります。  
9)-6・待機ドライバーとピットクルーの皆さんは、計測機の付け忘れが無いかチェックしてください。  
9)-7・計測用発信機は、イベント終了後すみやかに事務局までご返却ください。

#### 【10】ドライバーの交代について

- 10)-1・本イベントは特殊な車両台数規則な為、ドライバー交代の方法を、全チームに対し特別に設定します。  
10)-2・ドライバーの交代は、次の要領で行うこと。
- 10)-2-1 ○ドライバー交代関連作業中はエンジンをストップが基本です。(暖機運転は認めますが、作業中はエンジン停止)  
10)-2-2 ○複数車両のチーム = これから走る車両を各自PIT裏(パドック側)にスタンバイ。各車ピットイン後、そのままピットロードを各自ピット前まで進み、車両の頭からピットボックスへ入り、ピット裏のスペースまで進む、ピット裏のスペースにて車ごとドライバーチェンジ&発信機の付け替えを行って、自ピットボックスからピットロードへ侵入し、コース復帰。従って、ピット裏のスペースに予めコースから戻って来た車両を受入れるスペースを各チームにて確保する事。  
**この時、以下の点に注意しご協力ください。**  
①→次に出走する車両はエンジンSTOPの状態。  
②→次出走ドライバーは、車両から降りた状態でスタンバイ。  
③→前ドライバーが車から降りてから、次出走ドライバーは乗込み開始。  
④→発信機の付替えと、シートベルトの装着が完了次第PIT-OUT。
- 10)-2-3 ○車両1台のチーム = 各車ピットイン後そのままピットロードを各自ピット前まで進み、自ピット前作業エリアにて停車。自ピット前作業エリアにてドライバーチェンジを行い、コース復帰。  
10)-2-4 ※○ダミードライバーチェンジの場合 = 自ピット前に停車→エンジンをストップ→車両から降り側面に立ちドアを閉めるまでの動作を行い。再度乗り込んでベルトを締め、エンジンを掛けてスタート。
- 10)-3・発信機の付替え作業は、ドライバー及び、ピットクルーの誰が行ってもOKです。

#### 【10-①】ドライバーの交代について

- 10-①)-1 今大会は長時間(3時間)耐久の為、安全対策事項として以下のドライバー交代規定を全参加ドライバーに義務付け致します。**各ドライバー1人あたりの連続運転時間を30周までとする。**従って、各チームドライバーは連続走行周回が1周～30周の間で交代を行わなければならない。1人のドライバーが連続で31周以上走行した場合は、ペナルティとして相当周回数を減算とする。  
※チェッカー後に各ドライバーの周回情報の確認を行い、その後、結果発表と致します。結果発表まで少々お時間を要しますので予めご了承の程、宜しくお願い致します。

#### 【11】ガソリンの補給について (本イベント特別ルール)

- 11)-1・180min中に給油できる車両は、発信機が装着されている車両に限ります。  
11)-2・180min中の給油作業は、**タイミングと給油量を自由とします。**  
**※純正のガソリン搭載容量を超える燃料タンクを装着している場合は、純正容量までの給油量に留めて下さい。**  
11)-3・給油場所は、各チームともピット前作業エリアにて行える事とします。  
11)-4・給油は、金属製のガソリン携行缶からのみ出来るものとします。給油を行うチームは必ず持参すること。  
11)-5・給油のピットINの際、**ピット入口の白線より各チームピット前まで、最高速度20km/hで移動する事。**  
ガソリン給油券は事前にパドック内ガソリンスタンドにて購入してください。  
ガソリン代金は、**225円/1ℓ(時価会員価格)**となります。  
尚、**給油中はエンジンを停止する事。ターボ車もエンジンを止めて頂きます。**従って、クーリングのアイドルが必要な場合はクーリングが終わってからの給油となります。(クーリングは各自ピット前)  
11)-6・給油が終了した車は、移動方法を同様に行い、コースに復帰してください。  
11)-7・給油中は、ドライバーの交代を含む一切の作業を禁止とします。  
11)-8・給油作業を行うチームは必ず、**最低1本の消火器を持参する事。給油中は1人が消火器をかまえてください。**  
11)-9・**給油担当者は、給油中フルフェイスヘルメット(ゴーグル)を着用する事。(最低限、目を保護する為)**

#### 【12】耐久180min及び、その他走行時間中の使用フラッグについて

- 12)-1・本イベントの全走行時間中にフラッグポストより提示されるフラッグは以下の通りとなります。  
①黄旗 ⇒ 前方注意・グリーンフラッグ(次ポスト)まで追越禁止。  
②赤旗 ⇒ 走行中断・全車ピットロードに帰還。耐久180min中の赤旗の場合は、ホームストレート上。  
③オイル旗(赤&黄ストライプ旗) ⇒ 路面注意・滑りやすい・落下物あり・路面異物あり。  
④オレンジボール(黒旗にオレンジの丸) ⇒ 車両に異常あり、次の周回時にピットロードに入り、自己のピットに停止。  
⑤青旗 ⇒ 後方より速い車が接近し、追い越そうとしている注意喚起の旗。走行ラインをキープ。  
⑥緑旗 ⇒ コースクリア・黄旗制限解除  
⑦黄旗+SCボード ⇒ フルコースコーション・追越禁止・SCカーに続き隊列走行・ピットイン随時可  
※フルコースコーション時のコースINは、ピットエンドの信号が青の時のみ可能。  
隊列最後尾が、2コーナーを過ぎて10秒間のみピットエンド信号が青になります。  
⑧白旗 ⇒ 前方にスロー走行車又は、緊急車両等の介入が有り。前方要注意。

#### 【13】フリー走行 出走について【タイスケ①時間帯】(本イベント特別ルール)

- 13)-1・発信機は、1チームにつき1機です。チーム内で相談して1台1人ずつ走行して下さい。  
(チーム内で同時に2台以上の出走は不可)(都合により変更有)  
13)-2・チーム内登録ドライバーの誰がどの順で走ってもかまいません。

代表で1人が走ってもOK。登録ドライバー全員が交代して走ってもOK。

13)-3・ **ドライバー交代と共に、車両が変わるチームは、計測用発信機を必ず走行車両に付け替えてください。忘れるとタイムが取れません。**

13)-4・ ドライバー交代と共に、車両が変わるチームは、交代方法を同様に行ってください。

#### 【14】フリー走行中の停止車両回収について【タイスケ①時間帯】

14)-1・ この時間中の停止車両は、危険位置停止の場合以外は中間で一度赤旗回収します。

14)-2・ 危険位置停止の場合は、即刻赤旗となりますのでご了承ください。赤旗による時間延長は無し。

14)-3・ 回収車両の降り場所は、**タワー裏パドックエリア周辺**といたします。

#### 【15】スタートドライバー タイムアタックについて【タイスケ②時間帯】

15)-1・ **タイムスケジュールに記載するこの時間帯は、実際にスタートを担当するドライバーと車両のみ走行することが出来ます。**

15)-2・ スタートドライバーが、この時間内に記録したタイムを基に、180minのスタート位置を決定いたします。

15)-3・ この方式は、実際のスタートを想定し、出来る限り事故無くスタートを行う為に、該当車両をタイム順に配置する事で、少しでもチーム間のスピード差の調整を図る意図があります。是非、ご協力ください。

15)-4・ 出走枠は全45チームです。予選落ちはありません。(タイムアタック方式変更の場合は受理書にて連絡します)

15)-5・ この時間の停止車両回収は、基本的に走行時間終了後になります。

#### 【16】スタート位置に付く為のコースINについて

16)-1・ タイムアタック結果表が出ましたら、各チームのスタート位置順とその場所をご確認ください。

16)-2・ コースIN合図と共に、スタートドライバーは装備を整え、コースを1周してスタート位置に付いて下さい。

16)-3・ ピットクルー／お手伝いさん又は、スタートドライバー以外のドライバーは、チーム車両をスタート位置への誘導にご協力ください。

#### 【17】耐久180min スタート方法について

17)-1・ スタートは、ローリングラップからのグリーンシグナル(グリーンフラッグ)で行います。

17)-2・ スタート位置に着いた車両のドライバーはエンジンを止め、装備はそのままでスタートの合図を待ってください。

17)-3・ 全チームの準備が整い、定刻になり次第ローリングラップを開始します。ローリングラップは基本的に1周です。

17)-4・ **180minスタート5分前までにスタート位置に着けないチームはピットスタートとなり、最後尾が1コーナーを通過した後にピットロードエンドの「青信号」でスタートとなります。**

17)-5-1 ※スタートの流れ(全車スタート位置配置完了からの場合)

17)-5-2 ・180minスタート5分前で、コースINはクローズされ、スタート位置上での全ての作業は禁止となります。

17)-5-3 ・180minスタート3分前で、ドライバー以外はコース上から退去してください。

17)-5-4 ・180minスタート1分前で、エンジンを始動し、ローリングラップスタートの合図を待ってください。

17)-5-5 ・定刻になり、フラッグタワーのグリーンフラッグにてセーフティカーを先頭にローリングラップ開始。隊列を乱さずに1周のローリングラップに入ります。ローリング中は追い越し禁止です。

17)-5-6 ・最終コーナ110Rに差掛かった時点で、予定通りスタートできる場合にはセーフティカーのオレンジコーションが消灯されます。

17)-5-7 ・セーフティカーがピットIN後は、その後を走行していた車両からスタート準備となります。但し、この時の先頭車両には隊列を整える義務が有り、隊列を整えながらストレートを直進してフラッグタワーのグリーンシグナルの点灯を合図とし加速を開始してスタートとなります。

17)-5-8 ・**スタート時の追い越しは、各車コントロールラインを通過後に可能となり、それ以前の追い越しは禁止です。**

17)-5-9 ・やむをえない理由により、一度コーションランプを消灯させた後にスタートOKの指令が取消された場合には、再度コーションランプを点灯し、セーフティカーは先導走行を引続き行います。その場合のスタート手順も、上記同様で行います。

17)-5-10 ※これらのスタート動作全ては、スタート進行オフィシャルの誘導で行います。オフィシャルの誘導に従って下さいます様、ご協力お願い致します。

#### 【18】フルコースコーションについて

18)-1・ 180min中に停止車両が出た場合、又は少々のオイル処理等、走行を中断するまでも無く作業を行える場合は、セーフティカーをコース内に導入し、イベントを中立化します。

18)-2・ **フルコースコーションの合図として、全ポストにてSCボード+黄旗が振動にて提示されます。この合図が出た時点で、コース上は全て追い越し禁止**となります。

18)-3・ セーフティカーは、フルコースコーションの指令と共に、トップ車両に関わらずコースインします。セーフティカーの後に続いた車両より、順次隊列走行となります。

18)-4・ フルコースコーション中の周回も、各チームの周回数にカウントされます。

18)-5・ フルコースコーション中のピットインは、自由です。

18)-6・ **フルコースコーション中のピットアウトは、隊列の最後尾が2コーナーを通過後10秒間(ピットエンド信号青の時)のみコースインできます。**それ以外は安全作業確保の為、コースINできません。

18)-7・ フルコースコーション中にピットからコースINした車両は、追い越しを行わず隊列の最後尾に順次続く事。

18)-8・ フルコースコーションは、解除までの周回数に規定が無く、フラッグタワーにてグリーンフラッグ(緑旗)が振動提示されるまで続きます。また、トップ車両を隊列先頭に出す「頭出し」を行う場合もあります。

18)-9・ フルコースコーション中に意図的に隊列を乱す様な行為を行ったチームは、イベント除外までの厳しい処置を行使させて頂く事があります。

#### 【19】フルコースコーション解除に伴う、再スタートについて

19)-1・ フルコースコーション解除後の再スタートは、ローリングスタートにてイベント再開となります。

19)-2・ セーフティカーは、フルコースコーション解除指令を受けたのち、その週の110R入口付近でコーションランプを消灯します。

19)-3・ コーションランプを消灯したセーフティカーは、その週のうちにピットロードへ入ります。

19)-4・ セーフティカーがピットイン後は、その後を走行していた車両から再スタート準備となります。但し、この時の先頭車両には隊列を整える義務が有り、隊列を整えながらストレートを直進してフラッグタワーのグリーンフラッグの振動を合図とし加速を開始して再スタートとなります。

19)-5・ 再スタート時の追い越しは、各車コントロールラインを通過後に可能となり、それ以前の追い越しは禁止です。

19)-6・ やむをえない理由により、一度コーションランプを消灯させた後、フルコースコーション解除の指令が取消された場合には、再度コーションランプを点灯し、セーフティカーは先導走行を引続き行います。その場合の再スタート手順も、上記同様で行います。

#### 【20】180min中の停止車両回収について(救済特別ルール)

20)-1・ 180minイベント中の停止車両の回収は、特に緊急を要する場合を除き、基本的にフルコースコーションを実施して、先導付隊列走行で周回を行いながらレッカー車をコースINさせて作業を行います。

20)-2・ この処置を取るタイミングはイベントコントロール管制塔に有り、参加者の都合によるタイミングでその処置をとる事は出来ません。ご了承ください。

20)-3・ 停止車両が発生した場合には、その都度フルコースコーションを導入し、車両回収を行う事となります。停止車両が続出する場合には、頻りにフルコースコーションが実施される事となり、制限の無い状態での走行時間を継続して取る事が難しくなります。少しでも長く継続するフリーな走行時間を取れる様、参加者の

皆様のご協力(各自の運転スキルを超えない運転)を頂けることを望んでおります。

- 20)-4・コース内からのレッカー救済処置を受けたチーム車両は、パドックエリアまでレッカーの牽引を受け、その場で5分間の車両保管となります。
- 20)-5・その時、係員から車両保管解除時間の記入されたチェックシートの配布を受け、それをフロント窓ガラス内側に貼付する。この5分間は全ての作業を行う事は出来ません。
- 20)-6・複数車両登録チームも、発信機の付替え作業を含め、この5分間の車両保管中は作業禁止。コース内から発信機のみ回収をうけたチームも同様に、5分間の発信機保管となります。
- 20)-7・5分間の車両保管を消化したチームは、係員に申し出てチェックシート確認後、ガレージに戻り作業を行う事ができる。その時、パドック内の速度制限ルール(20km/h)を厳守する事。
- 20)-8・チェッカーフラッグまで残り15分前後の時点では、この救済処置は行いません。ご了承ください。

**【21】180min中の赤旗中断について(下記内容は基本とし、変更点等あれば当日のブリーフィングでお伝えします)**

- 21)-1・180minイベント中にコースをクローズせざるを得ない状況が発生した場合、赤旗にてイベントを中断する場合があります。
- 21)-2・この時、走行していた車両及びドライバーは追い越しを禁止してスピードを徐行レベルまで落とし、ピットには戻らずホームストレート上に進み、そこで係員の指示に従いレッドライン付近を先頭に整列停止してください。
- 21)-3・この場合、ホームストレート上待機中の作業は一切禁止といたします。(作業OKの指示が出た場合を除く)ピットクルー及び他のドライバーがコース上に降りる事も禁止といたします。
- 21)-4・赤旗の時点で、ピット作業中のチームは、そのまま作業を続ける事ができます。但し、赤旗解除後の再スタートグリッドには付く事が出来ず、作業を終えたチームから順にピットエンドに整列し、ピットスタートとなります。
- 21)-5・イベントが一旦中断され、コース内の作業が全て終了し、残り時間にてイベントを再開できる場合には、中断の2周前の周回数消化時点での結果を基に、再スタート用のスタート位置順が決定されローリングスタートにてイベント再開といたします。この場合のローリングスタート手順は、フルコースコーション解除に伴う再スタート手順と同じ方法にて行います。(スタートの為にローリングは1周の予定)  
※隊列の整ったSCランからの赤旗提示の場合は、当該状態(順位)からの再スタートを行う場合もあります。
- 21)-6・イベントの終了時間(チェッカー)は、タイムスケジュール記載の時刻を最終とし、その時刻までのイベント内容を結果として発表する事とします。(赤旗終了の場合には、中断の2周前の周回数消化時点が結果となります)
- 21)-7・イベントが実際に中断されてしまった場合には、少しでも長く走れる様、再スタートを目指し復帰作業を試みますが、天候上の理由も含め、どうしても再スタート(コースOPEN)を行えない場合があります。予めご了承ください。また、作業的に人手が多数必要な場合には、参加者の皆様にもご協力を要請する事があるかもしれません。その時は、是非お手伝いの程を、お願い致します。
- 21)-8・赤旗による中断によって、イベントが数パートに分かれてしまった場合には、全てのパートの合算周回数にて結果表を作成します。
- 21)-9・全パート合算周回数が同一周回数の場合は、最終パートの順位に基づいて決定いたします。

**【22】感動のチェッカー(チェッカー後について)**

- 22)-1・イベント終了時刻を経過した時点の、最多周回チームに対して、チェッカーフラッグが振られます。
- 22)-2・チェッカーを受けたトップ車両の前に、ピットロードからセーフティーカーが合流します。そのまま先導付き走行にて、コースを1周して全車ホームストレートまでパレード走行をして停車・終了となります。走行車両は一時的に車両保管となり、コース上で計測用発信機の回収等を行います。また、このパレードランにはピットクルーやヘルパーさんの希望者もマイカーでご参加いただけます。(別途マーシャルカーが先導いたします)
- 22)-3・車両保管が解除となりましたら、各車両はピットへ移動して後片づけを開始してください。
- 22)-4・表彰式の開始時刻については、放送にて別途ご案内いたしますので、表彰式会場にはご案内時刻までの集合をお願い致します。表彰式は結果集計が終了次第行う予定です。

**【23】イベント中のペナルティーについて**

黄旗追い越しを始めとするスポーツ精神に反する行為や、他の参加者に迷惑や危険を及ぼす行為を行ったチームには、STOP&GOペナルティーからイベント除外までのペナルティー処置を、すべては主催者の判断により課す場合があります。本来、こういったペナルティー処置を課せられる様な行為はあってはなら無い事だと思います。あらゆる場面で、主催者がそれと認めた場合には、その理由を問わず、正当な参加者守護とイベント円滑運営の為、罰則処置を行使させて頂きます。この事をご理解いただき、罰則の対象となる行為や、またそれと疑われる様な行為は行わないようにご協力ください。

**【24】イベント賞典について**

賞典対象は、各クラスのエントリーチーム数に応じ、以下の表に基づいて決定させて頂きます。  
各クラス共通

エントリー数	賞典順位	賞典内容
1チーム~3チーム	1位	副賞品 & シャンパン贈呈
4チーム~6チーム	1位~2位	
7チーム以上	1位~3位	

※その他、全員参加の抽選会にて豪華景品を多数準備予定!  
※チェッカー後のパレード走行はお手伝いさんの皆様も参加OK。皆でイベントフィナーレを盛り上げよう!

**【25】その他**

- 25)-1・イベント期間内の、コース設備(ガードレール・クラッシュパッド)やパドック内の施設破損は、当事者様の全額負担となります。
- 25)-2・イベント参加中に負傷した場合は、必ず救護室にて治療を受け受診記録を作成して下さい。(補償金適応条件)
- 25)-3・持参物(参考)  
ビニールテープ/ガムテープ/計測機固定用タイラップ(プラスチックバンド)/消火器/冬大会には防寒具  
スポーツタオル/各種工具/金属製ガソリン携行缶/羽織り物/雨具/有事の為に保険証 等
- 25)-4・JAF国内ADドライバーライセンス取得申請は中断しております。